物理学実験で役立つWEBアプリケーション

あったら便利だったWEBアプリケーションをPythonで作成してみた。 (CGIプログラムを使って)

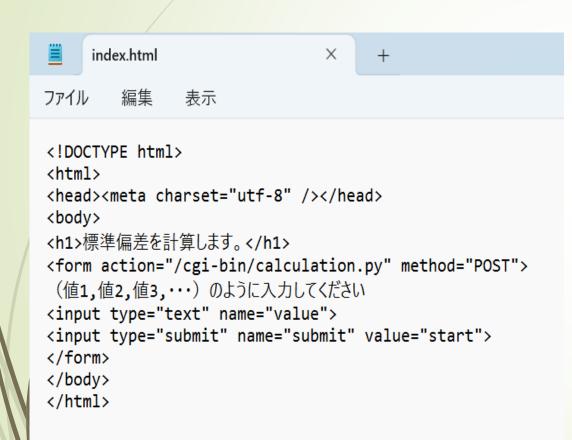
今回は直接測定で得られた値を

$$X = \bar{x} \pm \eta_i$$

の形で表す。

$$ar{x} = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^{n} x_{i}$$
 (平均)
$$\eta_{i} = \sqrt{\frac{\sum_{i=1}^{n} (x_{i} - \bar{x})^{2}}{n(n-1)}}$$
 (標準偏差)

制作過程1



左のようにプログラムを書いてindex.html で保存。 ここでは入力ページの設定をした。

制作過程2

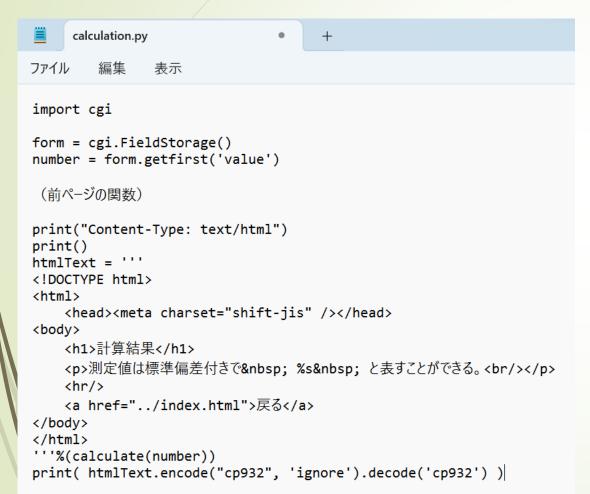
```
× +
     calculation.py
ファイル
            表示
def calculate(a):
   #平均と標準偏差を求める
   list_a = a.split(',')
   length = len(list_a)
   list_b = []
   for x in list a:
       list_b.append(float(x))
   average = sum(list b)/length #平均
   list c =[]
   for x in list b:
       list_c.append((x-average)**2)
   result = (sum(list_c)/(length*(length-1)))**0.5 #標準偏差
   #有効数字2桁にする
   list d = list(str(result))
   i = 0
   if len(list d) == 5 and list d[0] != '0':
       i = int(list d[3] + list d[4])
       result = round(result, i+1)
       average = round(average, i+1)
    else :
       for x in list d:
           if x == '0' or x == '.':
               i += 1
           else:
               break
       if result < 0.1:
           result = round(result, i)
           average = round(average, i)
       else:
           result = round(result, 2)
           average = round(average, 2)
    answer = (f'{average}±{result}')
   return(answer)
```

得られた測定値を先ほどの形にして返す関数が左のようになる。

名前はcalculate。

(一応機能はするけれど、もっときれいに書けると思う)

制作過程3



左のようにプログラムを書いて、 calculation.pyで保存。

カレントディレクトリに新しく、cgibinというディレクトリを作成して、こ の中に入れる。



実際に使ってみた

金属円柱の高さの測定

測定回数	高さ
1	20.033
2	20.025
3	20.020
4	20.018
5	20.031
6	20.020
7	20.020
8	20.020
9	20.026
10	20.022

$$\bar{x} = \frac{1}{n} \sum_{i}^{n} x_{i} = 20.0235$$

$$\eta_{i} = \sqrt{\frac{\sum_{i=1}^{n} (x_{i} - \bar{x})^{2}}{n(n-1)}} = 0.0016$$

したがって、教科書の回答は H = 20.0235 ± 0.0016

実際に使ってみた







感想

- ・不確かさの伝播を考えた計算もやりたかったが勉強不足だった。
- ・入力画面などをわかりやすく表示したかったが,ネットや入門書 で扱った最低限のことしかできなかった。

Excelで求められるうえに本当に基礎的なことではあるが、良い経験になった。

今後は積極的に学んだことを生かしていきたい。